

開館記念展

「清川泰次の世界」展

会期:11月1日～2004年3月28日
入場者:2303人

作家・清川泰次が生前に愛用したアトリエを兼ねた住まいを改装し、このたびあらたに開館した当館は、清川芸術を広く紹介するとともに、館内には区民の発展の場として区民ギャラリーを併設した。

開館を記念して開催した、「清川泰次の世界」展は、洋画家・立体作家、清川泰次の初期から近作に至る作品を、多角的に紹介しようとする試論であったといえよう。

今日、清川泰次は、純粹抽象画の作家として知られ、国内外の美術館などにその作品が収蔵されているが、本展では、これまであまり紹介されたことのない、20代の頃に制作された作品も展示することで、戦後間もない、物資の乏しい時代に、若き芸術家・清川泰次が、苦しみながらも、自らの芸術に真摯に立ち向かう姿を、その絵画から窺い知ろうとする試みでもあった。この他、滞米中の作品、帰国後間もなく制作された作品なども展示し、清川泰次の知られざる一面を紹介しつつ、その画業全体を見渡す企画となった。



B2ポスター



B3ポスター

出品目録

No.	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(cm)
1	自我像	1946	カンヴァス、油彩	33.5×24.3
2	リンゴとパイプ	1946	板、油彩	24×33
3	花の静物	1947	板、油彩	22.3×1
4	ベガス	1947	カンヴァス、油彩	32×41
5	(静物、みかん)	1950頃	板、油彩	19×24.5
6	(顔)	1950頃	板、油彩	18×14
7	(静物、果実)	1951	板、油彩	22×27.5
8	親子	1951	カンヴァス、油彩	60.6×72.2
9	仮面のある	1953	カンヴァス、油彩	63×75.7
10	雲	1953～54	カンヴァス、油彩	63.7×75.5
11	黒と赤の三角-54	1952～54	カンヴァス、油彩	75.7×63.5
12	アブストラクト イン シカゴ	1954	カンヴァス、油彩	35×45.5
13	キャンバスの端をつぎ足した作品	1955	カンヴァス、油彩	65×90
14	マンダレー	1956	カンヴァス、油彩	60.6×72.7
15	海の見える街	1956	カンヴァス、油彩	24.3×33.5
16	巢立ち	1959	カンヴァス、油彩	130×80.9

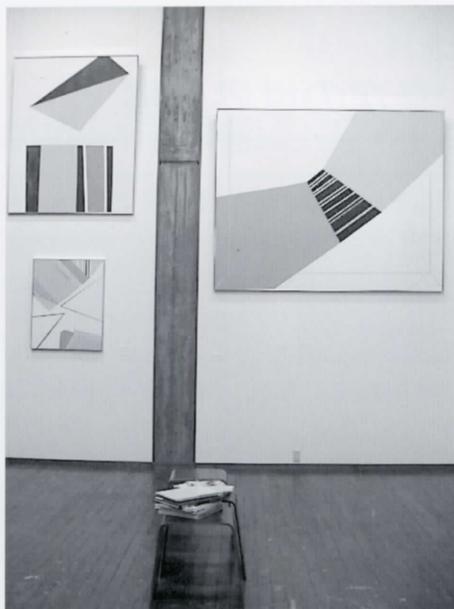
No.	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(cm)
17	秋	1959	カンヴァス、油彩	162×130
18	題の無い絵	1959	カンヴァス、油彩	193.9×259.1
19	白い絵具 チューブから	1950年代	カンヴァス、油彩	193.9×259.1
20	オキサイドグリーンの空に—文字	1959～62	カンヴァス、油彩	162×97
21	無題(読売アンテナ展作品)	1960	カンヴァス、油彩	135×135
22	白—P100-5-62	1962	カンヴァス、油彩	112×162
23	イタリーの空	1962	カンヴァス、油彩	41×31
24	むらさきの絵-63	1960～63	カンヴァス、油彩	97×162
25	黒い雨662-3	1963	カンヴァス、油彩	162×130
26	Painting SF3164	1964	カンヴァス、油彩	106×147
27	Painting SF3564	1964	カンヴァス、油彩	147×106
28	Gray & Black & White	1967	カンヴァス、油彩	162.4×242.8
29	赤—色の絵	1960代	カンヴァス、油彩	162×130
30	Painting No.393	1993	カンヴァス、アクリル	162×130
31	Painting No.196	1996	カンヴァス、アクリル	181×227



外観



開館レセプション



展示風景

平成15年度 清川泰次記念ギャラリー 区民ギャラリー展覧会一覧

期間	展覧会名
2月3日～2月8日	菊池明美作品展
2月10日～2月15日	曾谷康夫個展
2月17日～2月22日	小山めぐみ・未廣恵理 写真展
2月24日～2月29日	Chabouzu 水彩風景画展

期間	展覧会名
3月2日～3月7日	アトリエホライゾン ステンド&クラフトグラス展
3月9日～3月14日	繚展
3月16日～3月21日	小野祐子個展
3月23日～3月28日	糸の遊び



区民ギャラリー